

2019年度「英検 2020 1 day S-CBT」(11月24日実施)に関するご報告とお詫び

謹啓

平素より弊会の事業、ならびに実用英語技能検定をはじめとする各種試験に格別なご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

先般11月24日(日)実施の「英検 2020 1 day S-CBT (以下、S-CBT)」におきまして一部の受験者の試験を正常に完了できないトラブルが発生いたしました。以下、ご査収の程、宜しく願い申し上げます。

【対象受験者数】

対象は全受験者 805名のうち **30名**

※なお対象の受験者様には協会より順次個別にご連絡させていただいております。

【原因】

弊社からS-CBT(2019年11月から2020年3月実施分)を委託した世界的なCBT運営会社(テスト配信会社)として実績豊富なプロメトリック株式会社(以下、「プロメトリック社」)が米国法人にて開発し、日本法人にて運用していたテストシステムに障害が発生し、これにより受験者の解答が正常に記録されませんでした。プロメトリック社の見解としては、今回のような障害が発生したのは初めてとのことで、生憎、弊社としましても、同社のこれまでの実績、並びに世界的知名度から、この度のトラブルを予見することができませんでした。対象の30名の受験者様におかれましては、このたびご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

【今後について】

プロメトリック社から弊社への報告によりますと、状況は理解できるものではありませんが、動作不具合の原因の究明が出来ていないということで、弊社としては、今後さらなるトラブルも起こり得ると判断いたしました。こうした状況下で、受験者様のお立場を考えますと、将来を見据えて受験料をお支払いになられ、「S-CBT」を受験しようというご意思であるところ、弊社として受験者様にご安心して受験いただける環境をご提供できない可能性が少しでも残るのであれば、本試験の提供を引き続きおこなうべきではないと判断し、来る2019年12月から2020年3月に実施を予定していた、S-CBTの実施をひとまず全て中止とさせていただく決定をいたしました。

ご対象の皆様には既に個別にて電話またはメールで代替案のご提案を順次させていただいております。なお2020年1月から3月におきましては、追加申込のご案内をおこなっておりません関係上、現在、当該期間でお申込みいただいております皆様は、「大学入試英語成績提供システム」の例外措置を目的とした方であり、この方々につきましては、先般11月19日のプレスリリースにてご案内申し上げますとおり、去る11月1日の萩生田文部科学大臣による同制度の延期発表に伴い、原則、返金のご案内をさせていただいておりますので、1月から3月までの試験中止による影響はないものと考えております。[【プレスリリース】2019年度・例外措置の対応について～英検2020 1 day S-CBT～](#) (2019年11月19日リリース)

【2020年度4月以降の「S-CBT」について】

2020年度4月より実施予定のS-CBTは、「大学入試英語成績提供システム」が本格的にはじまる年であることから、当初より大規模な実施を想定し、すでに英検CBTおよびTEAPCBTを数年にわたり安定的に運用した実績のある、株式会社EduLabのグループ会社である株式会社教育測定研究所に、テストシステム提供ならびに実施運営を委託しておりました。それにつきましては、すでにプレスリリースでご案内させていただいております。

[【プレスリリース】2020年度、「英検2020 1 day S-CBT」の実施概要のお知らせ](#) (2019年7月2日リリース)

株式会社教育測定研究所のテストシステムは、今回トラブルが発生したプロメトリック社のテストシステムが有していない、テスト実施中のシステム集中監視やリアルタイムのエラー検知の機能、解答データの二重バックアップなどを実装しているため、今回と同様の事象は発生し得ません。

以上、該当の受験者様、ならびにその保護者様はじめ関係各位に、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、あらためて深くお詫び申し上げます。

謹白